

宮崎陸将が第43代師団長に着任

「一所懸命」を要望事項に 師団精強化を目指す

第43代第1師団長に富崎陸志（とみさき）陸将が2月6日、防衛研究所副所長から着任した。着任式において富崎師団長は、全隊員に「一所懸命」を要望し、任務を遂への決意を示した。

第1師団

私たちの誇り

躍動する自衛隊



栄誉礼を受ける富崎陸将

富崎師団長は、練馬駐屯地に到着後、駐屯地慰霊碑および第1師団慰霊顕彰室において献花を行い、殉職隊員に哀悼の誠を捧げた。続いて儀仗隊による栄誉礼を受け、着任式が執り行われた。

その後、練馬駐屯地営庭において着任式を実施し、富崎師団長は師団全隊員に対し訓示を述べた。



厳粛な雰囲気の中、巡閲を行う富崎陸将

訓示において富崎師団長は、我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増している現状に言及し、「戦争を起させないための備えと抑止の重要性」を強調した。

その上で、着任にあたり「精強師団の育成」を掲げ、「あらゆる任務を完遂し、国民の負託を受け、師団の隊員は責任感と頭号師団の誇りを胸に、一人一人が「一所懸命」任務に向き合う決意を新たに述べた。

東京地本

ジャパンラグビーリーグで自衛隊をアピール!

自衛隊東京地方協力本部（本部長 鹿子島陸将補）は1月17日、秩父宮ラグビー場で開催されたジャパンラグビーリーグワン浦安D-Rocks対東京D-Rocksの試合会場において、第1空挺団、第1普通科連隊及び第1音楽隊の支援を受け、広報活動を実施した。



新隊員特技課程及び一般曹候補生課程後期教育終了式 (R7.9.12)

立川市防衛協会の令和7年度を振り返ってみようと、令和7年5月24日（土）、定期総会を陸上自衛隊東立川駐屯地に於いて開催し、中島新会長の元、新たに新体制で新年度事業に積極的に取り組んでまいりました。

立川市

活動最前線!

地区協会コーナー

地の記念行事をはじめ、駐屯地夏祭り、花火鑑賞会、防災航空祭、日米友好祭、年末行事等において数万人の方々をお招きして、自衛隊と地域との連携を周辺各防衛協会と推進するとともに、東京地方協力本部立川出張所と連携して、新隊員募集活動にも協力してまいりました。



当協会においては、会員の高齢化もあり、

今後自衛隊との連携を深め防衛協会事業として、防衛講演会・自衛隊施設視察・新隊員募集活動等、周辺各防衛協会とともに、防衛意識を深める施策を積極的に進め新たな会員拡大に向けて参りたいと思っております。

本広報活動は、浦安D-Rocksのチーム運営を行っているNT Sports

堺前師団長 離任

堺前師団長は2月5日、師団長交代に伴う離任行事に臨んだ。

堺前師団長は令和7年8月に第42代師団長として着任以来、任務を遂行し、各部隊の精強化に努められ、首都防衛の重責を担う第1師団の育成に尽力した。



離任にあたり駐屯地を後にする堺前師団長に対し、隊員一同がこれまでの功績に対する感謝と敬意を込めて見送った。

一刻も早い鎮火と安全確保へ

各部隊・関係機関と連携 空中消火及び連絡員派遣

令和7年12月12日から令和8年1月にかけて、神奈川県、山梨県及び静岡県で相次ぎ発生した林野火災に対し、各自治体からの要請を受けて師団は第34普通科連隊及び第1飛行隊を派遣するとともに、第1ヘリコプター団、東部方面航空隊、第12ヘリコプター隊、東部方面混成団、第4施設群、東部方面特科連隊と連携した災害派遣活動を行い、早期鎮圧に向け一丸と



12ヘリのCH-47Jによる空中消火活動



現地調整所の現地確認を行う副師団長



夜間整備を行い翌日の活動に備える隊員

神奈川県 伊勢原市 日向山火災

12月9日に神奈川県伊勢原市の日向山で林野火災が発生し、10日に師団は神奈川県知事から災害派遣要請を受け、1飛行隊及び第12旅団隷下の12ヘリ隊のヘリが空中消火を実施した。最大4機態勢での散水により火勢鎮圧に寄与し、12日には現地での鎮圧宣言と撤収要請が出され活動を終了した。

山梨県 上野原市 扇山火災

1月8日、山梨県上野原市扇山で林野火災が発生し、同日夕方、山梨県知事から災害派遣要請を受け、師団は1月9日から空中消火活動を実施し、1飛行隊、12ヘリ及び1ヘリ隊の最

神奈川県 秦野市火災

1月11日に秦野市で発生した林野火災についても、鎮火に至らない状況から同日に災害派遣要請が出された。1ヘリ隊と12ヘリ隊が空中消火活動を行い、東混成団が連絡員を県庁や4施設群へ派遣して活動を支援した。13日には自治体からの撤収要請が出され活動を終了した。

静岡県 藤枝市火災

1月17日、静岡県藤枝市の山林で火災が発生し、県からの災害派遣要請を受け、34連隊から県庁及び現地調整所に連絡員を派遣するとともに、CH-47Jと連携しながら早期鎮圧を目指して活動し、23日に自治体からの撤収要請を受けて活動を終了した。

当日は、晴天に恵まれ、ラグビーファン約8千人の観衆が集まる中、屋外イベント会場において、偵察用オートバイや高機動車の装備品展示やガラポン抽選会及び迷彩服・制服の体験試着コーナーの設置の他、第1空挺団ラグビー部員による訪れたラグビーファンか



来場者からは「自衛隊のたくましい姿を見ることができて心強い」「ラグビー場での素敵な音楽演奏に感激した」など多くの心温まる声を聞くことができた。

公安系公務員 合同説明会における募集広報活動

自衛隊東京地方協力本部港出張所（所長 神3陸佐）は12月7日、東京しごとセンターにおいて「公安系公務員合同説明会」を実施した。



本説明会は港出張所が主催し、警視庁、消防庁、出入国在留管理庁、皇宮警察、海上保安庁及び埼玉県警察と共同で実施する公安系に特化した公務員合同説明会である。



本説明会は、定期的実施しており、良い人材を獲得するという共通の目的のもと機関の枠組みを超えて協力し、各々に公安系公務員の職務の魅力や魅力を発信している。他の機関からは「ONETEAAM

当日は、大学生を中心に約50名が来場し、皆様に真剣な面持ちで説明に耳を傾けていた。各ブースは、当初各機関の概要説明、その後各機関に興味を持つ参加者が自由に説明を聞くことができる個別ブースを配置し、自衛隊ブースでは、所長による全般説明と所員による各種説明・相談を実施した。

の体現」である」との声も聞かれた。合同で開催するメリツトとして、同一の場所複数の機関の話が聞けることができる点が挙げられ、多くの参加者が複数の機関のブースに足を運び、熱心に質問する姿が見られた。参加者からは、「一度に多くの機関の情報を獲得することができ、場を設けていただいているありがたい」などの感想が聞かれた。

港出張所は、引き続き公安系公務員合同説明会を積極的に企画し、自衛隊の魅力を発信するとともに、防衛省・自衛隊の理解促進を図り、人材確保に取り組んでいく。

（募集課広報班）